

平成31年度 学校経営計画書

1 学校教育目標

すすんで学び、すすんで挑戦する、たくましく、心豊かな人間の育成

- ◇ 知識を磨き、正しく理解し、創造する人間の育成
- ◇ 人を思いやり、互いに協力できる心豊かな人間の育成
- ◇ すすんで社会に参加し、自立する人間の育成

石川県立ろう学校

学校長 松原 潤子

2 中長期目標

(1) 本校の現状と課題

① 県内唯一の聴覚障害教育の学校として

聴覚に障害のある幼児児童生徒の将来の自立と社会参加に向け、一人一人のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を提供し、能力を最大限に引き出すための教育活動の推進に努めている。

② 準ずる教育と専門性

幼児児童生徒の実態に合わせて指導計画を作成し「学習上または生活上の困難を改善克服するための指導」と「幼稚園、小学校、中学校、高等学校の目標」の達成を目指して専門性、授業力の向上に努めている。

③ 一貫教育

幼稚部から高等部までの学部間の連携により、キャリア教育の推進、言語能力の向上、社会性の育成等が系統的・効果的に推進されるよう努めている。

④ センターの機能

聴覚障害教育のセンター的機能としての役割を果たすため、「きこえの相談支援センター」の円滑な運営、充実を図ると共に、多様なニーズに対応できるよう専門性の維持、向上、外部関係機関との連携および研修に努めている。

(2) 幼児児童生徒に関する中・長期目標

① 確かな日本語力の定着

各学部（学齢）ごとに適した言語活動への支援等を系統的に計画し、日本語力の向上を目指す。

② コミュニケーション能力の向上

音声、文字、手話、指文字等多様なコミュニケーションモードを活用し、自分の考えや気持ちを伝える力、相手の気持ちや考えを理解する力を育てる。

③ 学力の向上

主体的に学習に取り組む姿勢を通して、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、考え表現する力を育てる。

④ 自立と社会参加にむけて

自己肯定感を持ち共に助け合う社会の一員としての規範意識を高め、将来の自立と社会参加に必要な力を育てる。

⑤ 健康の保持・増進

発達段階に応じた体験活動や運動を通して、健康な心と身体を育てる。

(3) 教職員が目指す教育活動

① 聴覚障害教育への熱意と使命感を持ち、学校課題に対して効率的・組織的に取り組む。

② 幼児児童生徒一人一人の理解を深め、ニーズに応じた具体的目標の設定と粘り強い指導を実践する。

③ 積極的な研修の参加と授業改善に努め、専門性・授業力の向上を目指す。

④ 保護者や地域、外部機関との連携・協働を図り、信頼される学校を目指す。

3 重点目標

(1) 書く力の向上

言語活動や言語環境の整備を行い、個に応じた指導を通して日本語の「書く力」の向上を図る。

(2) 授業改善の取り組み

幼児児童生徒の主体的・対話的で深い学びに向けて、専門性や授業力の向上を目指した授業改善に取り組む。

(3) 防災教育の充実

災害や防災についての知識を深めるとともに、災害を想定した組織的行動への取り組みを推進する。

(4) 効率的な働き方

職場環境の改善を行い、効率的・計画的な業務の遂行に努める。